

## 2020・小学校中学年「青いあいつがやってきた!？」

□主人公のサトシは小学4年生。もし私がサトシのようにしらない街に転校したら、

と思いました。

□サトシのお父さんは仕事でいっしょに暮らせない。お母さんも仕事が忙しくてサトシは1人でおるすばん。

□1人でおるすばんするサトシの目の前に「全身青い、頭の上に皿、横に長く平たいくちばし、背中にはりついたカメのようなこうら」のあいつが現れました。私は、最初 あやしい / 気味が悪い / おもしろい と思いました。

□もしが私1人のときに、目の前にあらわれたら、

ではないかと思いました。

□サトシは「青いあいつ」と会ったことで（ひとりぼっちの土曜日を過ごさないで済んだ、まだ知らない新しい街を自転車で走った、いつもと同じ店の同じお弁当を買わなかった） という体験 / 行動をしました。

「青いあいつ」と会わなかったら、高いところが苦手なのに遊具の塔にのぼったり、お祭のコーラ早飲み挑戦したり、見知らぬ女の子にデメキンをあげたり することはなかったと思う。

□私が一番ドキドキした / びっくりした / 悲しくなった / 感動した / 楽しくなった 場面 / セリフは、

です。

なぜなら、

だからです。

□サトシが「青いあいつ」と会った話を読んで、

と考えました。 / と思いました。

□この物語を読んで、もし私の前に「青いあいつ」がやってきたら、

と考えました。 / と思いました。

□「青いあいつ」の「願いごとにはでっかいも、ちっぽけもない」「たいていの願いごとは、本人の力でどうにかなる」「自分の力で達成してこそ、幸福度もあがる」 という言葉を読んで、

と思いました / あらためて考えました。

なぜなら、

だからです。

□次の日の日曜日、サトシは「青いあいつ」のことを忘れてしまったけれど、家族といっしょに過ごせた /

高い塔にこわがらずに登れた / 同じクラスの子と仲よくなれた / サッカーに挑戦する気になった /

と考えました。 / と思いました。

きっとこれからは、

ではないかと思いました。